

■ 会社概要

(2020年10月20日現在)

商号 株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.  
 設立 1975(昭和50)年4月1日  
 本社 大阪市中央区南本町2-6-12  
 サンマリオンNBFタワー3階  
 資本金 566,760,000円  
 従業員数 438名(174名)  
臨時雇用者の人員を( )外数で記載しております。

■ 役員構成

(2020年10月20日現在)

代表取締役会長 三浦基和  
 代表取締役社長 藤田武敏  
 常務取締役 岡光正範  
 社外取締役 監査等委員 藁 薫  
 社外取締役 監査等委員 石 光 仁  
 社外取締役 監査等委員 豊 田 孝 二

■ 株式情報

(2020年10月20日現在)

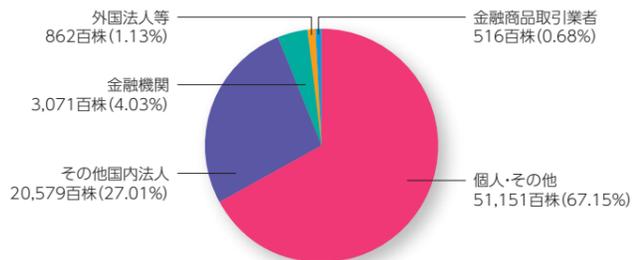
発行可能株式総数 26,000,000株  
 発行済株式総数 7,618,000株(自己株式を含む)  
 株主総数 2,949名  
 単元株主数 2,413名(議決権を行使することができる株主の総数)

■ 大株主の状況 (上位12名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社和顔	1,411	22.00
ダイサン取引先持株会	484	7.55
大原春子	273	4.27
ダイサン従業員持株会	270	4.21
金沢昭枝	228	3.56
三浦民子	228	3.56
三浦基和	228	3.56
大阪中小企業投資育成株式会社	200	3.12
三浦宣子	128	2.00
角谷清美	96	1.50
三浦星美	96	1.50
三浦摩美	96	1.50

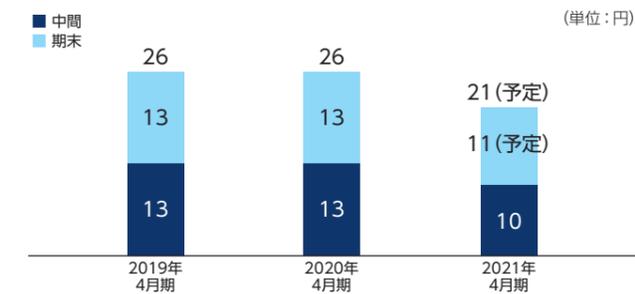
(注)持株比率は自己株式(1,205,112株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況



■ 配当金の推移

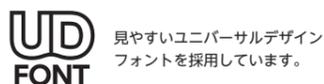
(2020年10月20日現在)



■ 株主メモ

事業年度 毎年4月21日から翌年4月20日まで  
 定時株主総会 毎年7月  
 基準日 定時株主総会・期末配当…毎年4月20日  
 中間配当…毎年10月20日  
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



# TOP INTERVIEW

トップインタビュー



代表取締役社長

藤田 武敏

Profile

生年月日：1968年11月20日  
 社長就任日：2015年4月1日  
 出身校：中京大学  
 出身地：山口県  
 趣味：野球、スキー

貸家、分譲ともに前年同期を下回り、全体でも前年同期比でマイナスとなりました。

当期間の全社取組みとして最優先にしていたことは、請負契約の施工スタッフを含めた全スタッフの安全と安心を第一に考え、新型コロナウイルスからの感染防止と雇用および請負契約の維持を徹底することでした。具体的には、3月より感染拡大防止策として取組んでおりましたマスク着用、手指のアルコール消毒、検温、本社・支店スタッフのテレワーク勤務、時差出勤などをさらに徹底するほか、コロナ禍での受注量減少に対しては、全てのスタッフを対象に一部稼働日を休業とし、休業手当を100%支給するとともに、雇用調整助成金の助成を活用致しました。

なお、8月3日に公正取引委員会より請負契約の施工スタッフに対する消費税の転嫁不足に対する勧告を受け、2014年4月以降の支払い対価の不足額49百万円を特別損失として計上致しました。また、10月に保有株式を売却したことから売却益73百万円を特別利益として計上致しました。

セグメント別の業績について、足場の施工付レンタルを行う施工サービス事業は、2020年4月に政府による緊急事態宣言を受け、多くの顧客が営業活動の自粛、建設現場の工事停止を進め、当社の受注活動も厳しい状況が続いておりましたが、新規顧客への営業を進めるなど積極的に活動したこともあり、第2四半期後半から徐々に受注が増え始めました。取組みとしては、前期より進めております請負契約の施工スタッフの社員化を促すとともに、営業担当者による現場調査のIT化、WEB会議システムを利用した社内業務の効率化など、将来を見据えた仕組みづくりを進めました。以上の結果、売上高は3,241百万円、売上総利益は944百万円となりました。

足場部材の企画、開発、生産、販売を行う製商品販売事業は、新

型コロナウイルス感染症による市況の悪化を受け、景気の先行きに対する不透明さから足場部材の買い控えが続き、主要顧客を中心に取引額は大きく減少致しました。このような中、中層大型建築物向けに安全性を高めた新型足場「レポルト®」に対する今後の需要拡大と施工サービス事業への社内投入を目論み、生産工程の稼働率を最大限にまで高め、在庫の確保を進めました。そのほか、現場消耗品のため安定した需要が見込める工事用メッシュシートについて、販売強化と商品調達先を海外に切り替え、仕入れ原価低減を図ることで、利益確保に努めました。以上の結果、売上高は507百万円、売上総利益は134百万円となりました。

シンガポールで石油化学等のプラント向けメンテナンス工事を行う海外事業は、2月より政府による新型コロナウイルス感染症の拡大防止策がなされ、4月のサーキットブレーカーの実施により国内経済が停滞する事態となったことから、事業活動は大きく制限されました。6月より徐々に規制が緩和され、現場への労働者派遣に対しては依然として厳しい規制が残っておりますが、緩やかながらも派遣者の稼働率は前期の水準に戻りつつあります。以上の結果、売上高は384百万円、売上総利益は43百万円となりました。

染防止策を徹底してまいります。住宅業界の動向については、新設住宅着工戸数は景気の悪化を受け、今後も先行き不透明な状況は続くものと考えられますが、都市部郊外を中心に戸建て住宅に対する需要が高まるなど、新たな生活様式に関する動きも出てきております。

セグメント別では、施工サービス事業において、新規顧客への営業が進み、中層大型建築物向けの足場工事も堅調に受注できていることから、第3四半期以降は月次での受注量が前期並みになると見込んでおります。なお、請負契約の施工スタッフの社員化により人件費は増加傾向にありますが、定着率や施工品質の向上のための先を見越した施策であり、原価の増加に対しては、業務効率の改善、経費の削減も併せて進めております。また、新たな事業所として、三重県亀山市に足場部材の整備工場を併設したサービスセンターを今期中に開設する予定です。

製商品販売事業においては、主要な販売先が積極的な投資を控えており、第3四半期以降も厳しい状況が続くものと想定しております。しかしながら、新型足場「レポルト®」に対する引き合いが増えており、施工サービス事業でも大型の建物向けの足場工事がさらに増えるの見込まれるため、社内の生産稼働率を高い水準に維持する予定です。今後は社内資源の利用だけでなく、海外も含めた外注での生産も検討してまいります。

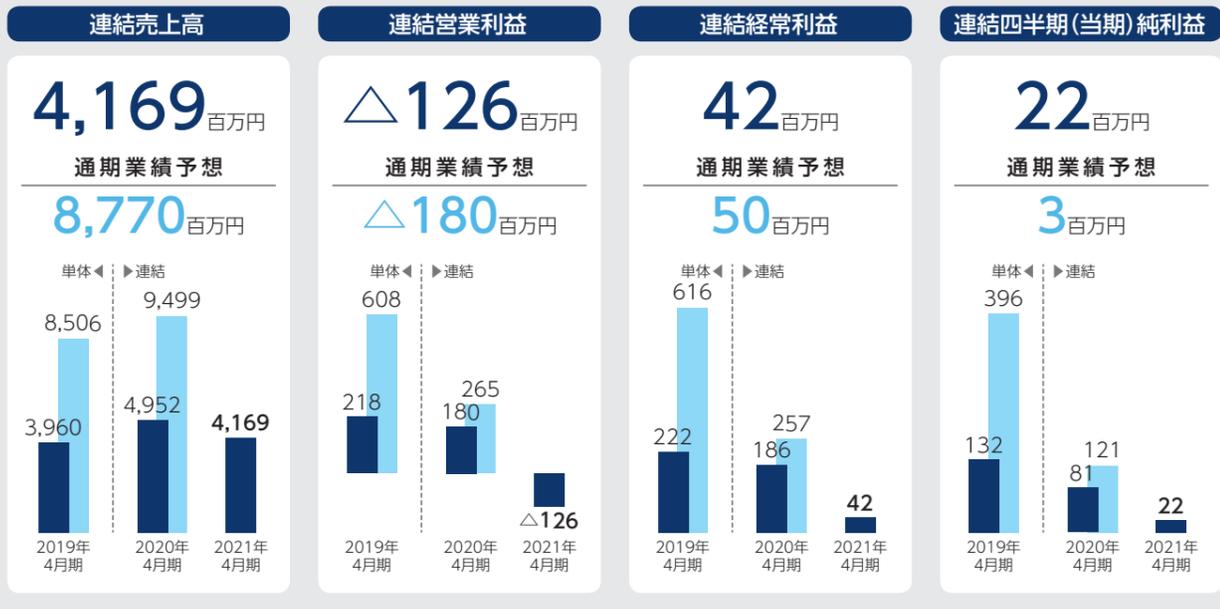
海外事業については、シンガポールの在外子会社において、現場への労働者派遣も増え、徐々に稼働率が前期の水準に戻りつつあるものの、政府による規制が日本国内と比べても厳しいことから、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、労働者の確保がより難しくなるものと考えております。上期同様に、新たな取引先への営業活動を続けるとともに、より利益率の高い工事を受注できる体制の整備に努めてまいります。

## 当第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間の業績について、国内外とも期首からの新型コロナウイルス感染症の影響により、財務ハイライトの通り、売上高、利益とも前年同期と比べ大きく下回りました。当社に関連の深い住宅業界につきましては、新設住宅着工戸数は利用関係別で持家、

## 財務ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)



(注) 2020年4月期より連結決算を開始しております。

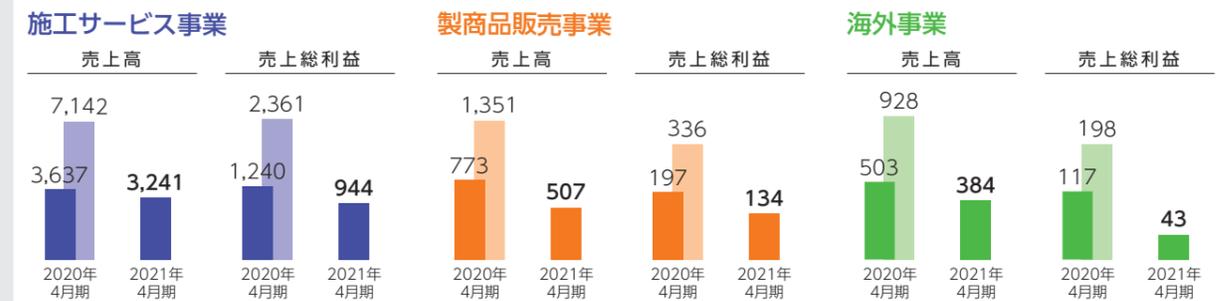
## 中期経営計画 ~2021年4月期

「建設現場にファースト(最上級)なサービス(FS品質)を心から」を基本方針に掲げ、右記の通り数値目標を修正致しました。

	2018年4月期	2019年4月期 1年目	2020年4月期 2年目(連結)	2021年4月期 3年目(連結目標値)
売上高	8,301百万円	8,506百万円	9,499百万円	8,770百万円
営業利益	653百万円	608百万円	265百万円	△180百万円
営業利益率	7.9%	7.2%	2.8%	—

## セグメント別概況

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)



◆特集◆ 次世代新型足場「Le-volt」のご紹介

# Le-volt

## レボルト

Le-volt® (レボルト) とは、“legacy (大いなる遺産)”、“revolution (革命)” と “result (結果)” を組み合わせた言葉です。

住宅向け足場のトップブランドとして長くご愛顧いただいている「ビケ足場」の遺伝子を引き継ぎ、“大いなる遺産に革命をおこし、未来に結果を出す”との願いを込めました。当社グループでは、当連結会計年度を最終年度とする

中期経営計画を立ち上げ、5つの重点戦略を掲げて取り組んでおります。

「中層大型建築物向け足場施工と製商品の販売拡大」は同重点戦略の一つであり、長期的には戸建住宅の新設減少が予想される中、レボルトを軸に中層大型建築物市場の拡販へ向けて取り組んでまいります。

### Le-volt の 強み

### 従来のビケ足場と 作業動作が同じ

従来から慣れ親しんでいただいているビケ足場と同じ作業動作で施工することができます。他の新型足場のように作業動作を変えたくないという声を反映させました。

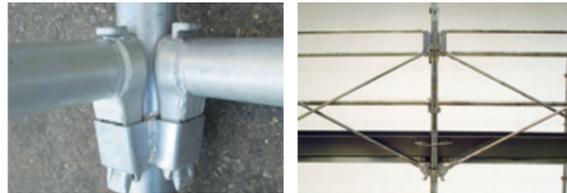
### ビケ足場との違い 1 より安全・静かな施工が可能。

抜け止め防止機能

抜け止め防止機能と緩み止めの安全機能により、従来のビケ足場と比べ長期間の設置でも外れにくいことから、戸建住宅より工事期間の長い大型の建物でも安心して使用いただけます。

また、緊結が目視で確認できるようになり、より確実な緊結を容易に行うことができ、過剰にハンマーで打ち込む必要がなくなり、打ち込み回数を減らして騒音を低減させることができます。

大型建物でも安心



### ビケ足場との違い 2 作業床コーナーがフラット。

段差を解消

従来のビケ足場では、コーナー部は作業床が重なることで段差が生じていましたが、レボルトは作業床がフラットになります。

足場で作業する方が段差でつまづく危険が無くなり、より安全に作業いただくことが可能となりました。

安全性の向上



### ビケ足場との違い 3 クレーンで吊り上げ可能、高所作業を軽減。



地上で組み立て、クレーンで吊り上げ

支柱に抜け止め防止機能が備わり、地上で足場を組み立ててからクレーンで吊り上げて積むことが可能になりました。

墜落災害を引き起こす高所作業自体が減少され、大規模な現場でも安心して作業ができます。

組み立てて吊り上げ可能

高所作業の減少

#### 量産と拡販への取組み

#### レンタルにおいて、「部材だけ」も開始。

#### レボルト専用の第二商品センターを開設

これまでのビケ足場を中心とした在庫に加え、レボルトなどの取り扱い製商品が増加したことにより、既存商品センター約7,148㎡に加え、1,805㎡の第二商品センターを開設致しました。

#### 福岡県古賀市にレンタルヤードを開設

レボルトの拡販に向けたレンタル対応や、ビケ足場・付帯商材のレンタルサービスのため、福岡県古賀市に5,481㎡のレンタルヤードを開設致しました。



PR動画制作中

レボルトの魅力や安全性をお伝えするためのPR動画を制作中です。